

ながとじん 長門人

温泉に行きたい

—熱血・新鮮力—



宮本里美さん

みやもとさとみ／昭和53年10月26日生／
板持3区／常盤薬品(株)長門営業所勤務

※仕事は 会社は、薬品をメーカーから仕入れ、病院や薬局に卸す業務を行っています。社員は12人いますが、私は主に経理と一般事務を担当しています。

※趣味は ショッピングですね。よく弟や友人と小倉の方まで出かけます。それと温泉が好きなので、今度、箱根あたりに行ってみたいですね。

※好きな言葉は 「謙虚」という言葉が好きです。中学の時の恩師が黒板に大きく書いたこの文字、今でも深く印象に残っています。

※気をつけている事は 電話の応対などハキハキと元気よく行うよう心がけています。



※結婚は 父は早くしろと言っているのですが、相手がいないので。(笑)でも、28歳位までにはしたいですね。パチンコなどギャンブルをしない人である人がタイプです。

「消防防災航空隊」入隊

—ちよつと小耳に—



鷲頭徹哉さん

わしずてつや／昭和45年12月4日生
／長門広域消防本部

救急搬送や林野火災等の空中消火活動を行う「消防防災ヘリコプター」の導入を決定している山口県が、そのヘリコプターに乗り込む「消防防災航空隊」に、長門広域消防本部から鷲頭徹哉さんが選ばれ、3年間入隊することになりました。

県下16消防本部の内8消防本部から1人づつ派遣されるもので、予定では3月に宇部空港内に新庁舎が完成。5月末には就航披露式が行われ、県内の林野火災や人命救助活動が展開されます。

「現在、愛媛県防災航空隊で10日間の実技訓練。3月から家族4人(妻・子ども2人)も宇部市で生活しますので、忙しい毎日を送っています。とにかく一生懸命頑張ります。」と、言っておられました。

なお、ヘリコプターは最大搭乗員数11人、時速約250キロで、6月頃山口県での、空からの活躍が期待されます。



▲宇部空港でヘリを使っでの訓練風景